

## 授業情報 / Course information

### 授業概要情報 / Course information

#### 授業基本情報

時間割番号 / Course Code	2CC301		
科目名 / Course Title	文理融合データサイエンス I / Interdisciplinary Program on Data Science I		
科目区分	挑戦する知性科目		
担当教員名 / Teacher	前野 譲二		
開講期 / Course Duration	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	開講曜限 / Day / Period	火 / Tue 4
単位 / Credits	2		
ディプロマポリシーとの関連 / Related to diploma policy	<a href="https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf">https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf</a> ※上記にはコースナンバリングを含む。		
使用言語 / Language of instruction	日本語 (Japanese)		

#### 授業概要情報

##### 題目 / Theme

文理融合データサイエンス I

##### 内容 / Contents

本授業では、文化的・社会的事象を正しく読み取るにあたって必要な、「事象ををとりまくデータそのものに対する知識」、「データ収集方法についての知識」、「そしてデータに応じた適切な分析手法を活用するためのスキル」を学んでいく。  
 データの分析には、Rやjs-STARなどのオープンソース・フリーのソフトウェアを用いる。RはR言語というプログラミング言語を用いて統計解析を行えるソフトウェアである。js-STARはウェブ上で簡単な操作で統計解析を実行できるウェブアプリケーションである。初めてプログラミングに触れる人でも実行できるように解説を行う予定だが、適宜js-STARも活用しつつ実習を交えながら実施する。  
 また、本授業では、データ分析だけでなく、データを収集するのに必要な知識（アンケート等の調査方法や倫理的配慮等）についても併せて取り扱う。

##### 到達目標 / Goals of the course

- ・データサイエンスの基礎知識を説明でき、活用できるようにする。具体的には、文化的・社会的事象を対象とした課題を解決するためのデータ収集方法やそれに応じた適切な分析手法の選択、分析の実施、分析結果の解釈と説明が実施できる
- ・統計の基礎知識（データそのものについての知識、各分析手法の概要や注意点等）を説明できる

##### 教室外の学習方法 / Work outside of class

大学や個人のPCを用いながら、Rやjs-STAR等の統計解析用ソフトウェアを使って授業で取り扱ったデータの操作や分析の練習を行う。  
 授業中に適宜課題（データの操作、分析、結果の簡単なレポート作成等）を提示するので、授業中に提示された説明や、自主的に調べた分析手法（例えばRのコード）を参考にしながら実施する。予習よりも復習に焦点を当てて実施する。

##### テキスト / Textbooks

Rを使用する場合：平井 明代, 岡 秀亮, 草薙 邦広. (2022). 教育・心理系研究のためのRによるデータ分析—論文作成への理論と実践集, 東京図書  
 js-STARを使用する場合：中野 博幸, 田中 敏. (2021). フリーソフトjs-STARでかんたん統計データ分析, 技術評論社

##### 教材 / Teaching materials

##### 参考書等 / Reference books

- [1] 涌井良幸, 涌井貞美. (2015). 統計学の図鑑, 技術評論社.
- [2] 向後千春, ハンバーガーショップで学ぶ楽しい統計学. <http://kogolab.chillout.jp/learn/hamburger/index.html>
- [3] 向後千春. (2007). 統計学が分かる ハンバーガーショップでむりなく学ぶ, やさしく楽しい統計学, 技術評論社. ※[2]を書籍化したもの
- [4] 西田 典充. (2022). Rでらくらくデータ分析入門 ~効率的なデータ加工のための基礎知識, 技術評論社
- [5] 長島 直樹, 石田 実, 李 振. (2017). Rで統計を学ぼう! 文系のためのデータ分析入門, 中央経済社
- [6] 田中 敏. (2021). Rを使った〈全自動〉統計データ分析ガイド: フリーソフトjs-

成績評価方法  
/Grading Method

・授業内試験 (Exam in class)	30%
・期末レポート (student report)	70%

授業内試験は、授業中の確認テスト（基礎的な統計用語の確認や、Rやjs-STAR等の統計解析ソフトを使用した簡単な分析を制限時間内に実施すること）を含む。授業内試験の合計30%、学期中間レポート30%、学期末レポート40%

学生へのフィードバック  
/Feedback to student

- ・授業期間中に小テストを課し、次回授業時に講評を行う。(In-class quiz with feedback in next class)
- ・課題やレポートにコメントをつけて返却する。(Return assignments/reports with comments)

成績評価基準  
/Grading Policy

1. 簡単なクイズや授業内で提示する課題（Rを用いたデータ操作や解析）
2. 中間レポート（Rを用いたデータ操作やデータの描画等）
3. 期末レポート（データの収集とRによるデータ解析、結果の記述レポート作成）

備考  
/Notes

情報処理技法IおよびIIで学ぶような基本的なコンピュータの操作（ファイルをGoogle classroomからダウンロードし、ローカルの任意の場所に保存する、保存したファイルの場所を探して該当するファイルを開く、ファイルの名前を変更する、など）がサポート無しに実行できる、あるいは、分からなくなったら自分で調べて実行できるようにしてから履修すること。

## スケジュール/Schedule

回数	授業内容	教室外学習	
		内容	時間の目安
1	DSとはなにか, 統計解析ソフトの概要・使い方基礎	データサイエンスとは何か, なぜ重要なのかを説明できるようにする. 統計解析ソフトを起動して基本的な操作を実施できるようにする	120
2	データ入力・作成方法, データ型について	統計解析ソフトの基本的な操作を行えるようにする. また, 取り扱う基本的なデータの型を説明できるようにする.	120
3	棒グラフ, 折れ線グラフ, 散布図	棒グラフ, 折れ線グラフ, 散布図が描画できるようにする.	120
4	ヒストグラムと代表値	ヒストグラムと代表値について説明できるようにする. ヒストグラムを描画できるようにする.	120
5	代表値, 分散, 箱ひげ図	代表値やデータの分散について, 箱ひげ図等を用いながら説明できるようにする. 箱ひげ図を描画できるようにする.	120
6	母集団と標本, 単純無作為抽出	標本抽出に関する重要な概念と語句を説明できるようにする. 統計解析ソフトで標本抽出とヒストグラムの描画を行う.	120
7	記述統計演習 (グラフの作成等)	第1回~6回までに学んだ知識を活用し, 与えられたデータに対して適切なグラフの形を選択して作成する.	120
8	正規分布, t分布, 母平均推定 (点推定と区間推定), 信頼区間	母平均推定の考え方を説明できるようにする. 統計解析ソフトを用いて母平均の推定を実行できるようにする.	120
9	仮説検定とはなにか, データ収集についての留意点	仮説検定の考え方について説明できるようにする. データ収集を行うにあたっての留意点について説明できるようにする.	120
10	1標本のt検定 (単群), 対応ありのt検定	1標本t検定および対応ありのt検定を実行し, 結果を解釈できるようにする.	120
11	2標本のt検定 (パラメトリック, ノンパラメトリック)	2標本のt検定について, パラメトリック, ノンパラメトリック両者を実行し, 結果を解釈できるようにする.	120

12	t検定分析演習	アンケートデータから適切な検定を選択し、結果をまとめる。	120
13	観測度数と期待度数、カイ2乗検定、フィッシャーの正確確率検定	カイ2乗検定およびフィッシャーの正確確率検定を実行し、結果を解釈できるようにする。	120
14	分析演習（1）アンケート調査の実施	アンケート調査の計画を立て、実施する	120
15	分析演習（2）分析の実施と分析結果小レポートの作成	実施したアンケート結果を分析し、結果をレポートにまとめる。	120
備考			

**特徴ある授業科目**

特徴ある授業科目      アクティブ・ラーニング科目（A科目）

図書館蔵書検索OPACは[こちら](#)

無断転載、無断引用することを禁止いたします。ご意見は東京女子大学学務課までお願いします。(c) 2013東京女子大学. All rights reserved.

## 授業情報 / Course information

### 授業概要情報 / Course information

#### 授業基本情報

時間割番号 / Course Code	2CC302		
科目名 / Course Title	文理融合データサイエンス II A / Interdisciplinary Program on Data Science IIA		
科目区分	挑戦する知性科目		
担当教員名 / Teacher	金子 格		
開講期 / Course Duration	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	開講曜限 / Day/Period	水/Wed 4
単位 / Credits	2		
ディプロマポリシーとの関連 / Related to diploma policy	<a href="https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf">https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf</a> ※上記にはコースナンバリングを含む。		
使用言語 / Language of instruction	日本語 (Japanese)		

#### 授業概要情報

題目 / Theme	文理融合データサイエンスIIA		
内容 / Contents	文理融合データサイエンスIに続き、データサイエンスの手法を学ぶ。文化現象を対象にデータサイエンスの手法を用いた事例を概観し、文理融合型の研究におけるデータ分析の有効性と重要性を学ぶ。本授業では、データサイエンスの基礎を直感的に理解できる内容をめざしながら、卒業研究の際に必要なようになってくるデータサイエンスの実践力を習得する。受講者と試行錯誤を行いながら講義内容を発展させていく予定である。		
到達目標 / Goals of the course	(1) データサイエンスの全体像を理解する (2) データサイエンスの主要な手法について、目的、手法、結果の意味を理解する。 (3) データサイエンスの実際の処理、結果の妥当性の確認を行える。		
教室外の学習方法 / Work outside of class	・実習用プログラムを提示する。授業時間以外に、情報実習室や情報処理教室、自宅のコンピュータ等で、予習・復習を進めること。 ・授業中に課される課題を実施すること。		
テキスト / Textbooks	最新のもので推奨できるものを第1回目の講義であらためて紹介する。 授業ではBYOD[自分のパソコンを持参して操作する]とするので持参すること。(支障ある場合は相談すること)。		
教材 / Teaching materials	最新のもので推奨できるものを第1回目の講義であらためて紹介する。 下記は授業の内容と一致するものではないが関連して参考となるものをあげる。 1) 今西航平他、データサイエンスがどういうものかを予習的に理解するのに向く 図解ポケット 今日から使える！ データサイエンスがよくわかる本、秀和システム 2) gacco/jmooc AI・データサイエンス基礎 AI, データサイエンスの基礎を動画でざっくり見ることができる <a href="https://www.jmooc.jp/ai-and-datascience/">https://www.jmooc.jp/ai-and-datascience/</a> R言語の実行環境はgoogle colabとanacondaの併用を推奨するが、講義の中で学んでいくので、事前に習熟している必要はない。		
参考書等 / Reference books			
成績評価方法 / Grading Method	・授業内試験(Exam in class) 0% ・期末レポート(student report) 0% ・平常点(participation in class) 30% ・その他(Other) 授業期間内の小テストや実習レポート (70%)		
学生へのフィードバック / Feedback to student	・課題やレポートにコメントをつけて返却する。(Return assignments/reports with comments) ・その他(Other) google classroom を利用して、レポートや資料の共有を行う。		

**成績評価基準  
/ Grading Policy**

- (1) データサイエンスの全体像と目的を理解したか
- (2) データサイエンスの個々の手法について、目的、手法、結果の意味を理解したか。
- (3) データサイエンスの実際の処理、結果の解釈を行えるようになったか。

**備考  
/ Notes**

授業ではBYOD[自分のパソコンを持参して操作する]とするので持参すること。(支障ある場合は相談すること)。

「文理融合データサイエンスI」を履修していること。

R言語の実行環境はgoogle colabとanacondaの併用を推奨するが、講義の中で学んでいくので、事前に習熟している必要はない。

**スケジュール/Schedule**

回数	授業内容	教室外学習	時間の目安
		内容	
1	データ・AI活用の最新動向, データの加工 (1)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
2	データの加工(2)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
3	回帰分析(1)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
4	回帰分析(2)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
5	判別分析(1)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。。	120
6	判別分析(2)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
7	回帰分析(3)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
8	回帰分析(4)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
9	主成分分析(1)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
10	主成分分析(2)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
11	クラスター分析(1)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
12	クラスター分析(2)	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
13	アンサンブル学習	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
14	データサイエンスの倫理	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
15	まとめ		120
備考	「文理融合データサイエンスI」を履修していること。		

図書館蔵書検索OPACは[こちら](#)

無断転載、無断引用することを禁じます。ご意見は東京女子大学学務課までお願いします。(c) 2013東京女子大学. All rights reserved.

## 授業情報 / Course information

### 授業概要情報 / Course information

#### 授業基本情報

時間割番号 / Course Code	2CC303		
科目名 / Course Title	文理融合データサイエンス II B / Interdisciplinary Program on Data Science IIB		
科目区分	挑戦する知性科目		
担当教員名 / Teacher	永島 寛子		
開講期 / Course Duration	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	開講曜限 / Day / Period	木 / Thu 1
単位 / Credits	2		
ディプロマポリシーとの関連 / Related to diploma policy	<a href="https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf">https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf</a> ※上記にはコースナンバリングを含む。		
使用言語 / Language of instruction	日本語 (Japanese)		

#### 授業概要情報

題目 / Theme	文理融合データサイエンス II B
内容 / Contents	文理融合データサイエンス II Aに続き、データサイエンスの手法を学ぶ。文化現象を対象にデータサイエンスの手法を用いた事例を概観し、文理融合型の研究におけるデータ分析の有効性と重要性を学ぶ。本授業では、演習を通じてデータサイエンスの理解を深め、実践する力を習得することを目的とする。なお本講義は開講初年度なので、受講者と試行錯誤を行いながら講義内容を発展させていく予定である。
到達目標 / Goals of the course	(1) データサイエンスの全体像を理解する (2) データサイエンスの主要な手法について、目的、手法、結果の意味を理解する。 (3) データサイエンスの実際の処理、結果の妥当性の確認を行える。
教室外の学習方法 / Work outside of class	・実習用プログラムを提示する。授業時間以外に、情報実習室や情報処理教室、自宅のコンピュータ等で、予習・復習を進めること。 ・授業中に課される課題を実施すること。
教材 / Teaching materials	テキスト / Textbooks 各授業で配布する。  参考書等 / Reference books 授業の内容と一致するものではないが関連して参考となるものをあげる。 1) 孝忠 大輔他, 紙と鉛筆で身につける データサイエンティストの仮説思考, 翔泳社 2) 杉山聡, 本質を捉えたデータ分析のための分析モデル入門, ソシム
成績評価方法 / Grading Method	・平常点(participation in class) 30% ・その他(Other) 授業期間内の課題や実習レポート (70%)
学生へのフィードバック / Feedback to student	・授業期間中に小テストを課し、次回授業時に講評を行う。(In-class quiz with feedback in next class)
成績評価基準 / Grading Policy	(1) データサイエンスの全体像と目的を理解したか (2) データサイエンスの個々の手法について、目的、手法、結果の意味を理解したか。 (3) データサイエンスの実際の処理、結果の解釈を行えるようになったか。
備考 / Notes	授業では[自分のパソコンを持参して操作する]とするので持参すること。(支障ある場合は相談すること)。 「文理融合データサイエンス II A」を履修していることが望ましい。

#### スケジュール / Schedule

回数	授業内容	教室外学習 内容	時間の目安
----	------	-------------	-------

1	ガイダンス	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
2	回帰分析およびクラスター分析	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
3	決定木およびランダムフォレスト①	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
4	ランダムフォレスト②	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
5	ネットワーク分析①	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
6	ネットワーク分析②	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
7	サポートベクターマシン①	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
8	サポートベクターマシン②	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
9	ニューラルネットワーク①	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
10	ニューラルネットワーク②	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
11	アソシエーション分析①	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
12	アソシエーション分析②	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
13	AIとディープラーニング	・自習用課題(プログラムなど)を提示する。	120
14	総復習①	講義内容の復習	120
15	総復習②・まとめ	講義内容の復習	120
備考			

図書館蔵書検索OPACは[こちら](#)

無断転載、無断引用することを禁じます。ご意見は東京女子大学学務課までお願いします。(c) 2013東京女子大学. All rights reserved.

## 授業情報 / Course information

### 授業概要情報 / Course information

#### 授業基本情報

時間割番号 / Course Code	2J10110		
科目名 / Course Title	情報処理技法 (リテラシ) I / Information Processing Skills (Literacy) I		
科目区分	情報処理科目		
担当教員名 / Teacher	白銀 純子		
開講期 / Course Duration	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	開講曜限 / Day/Period	火 / Tue 5
単位 / Credits	2		
ディプロマポリシーとの関連 / Related to diploma policy	<a href="https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf">https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf</a> ※上記にはコースナンバリングを含む。		
使用言語 / Language of instruction	日本語 (Japanese)		

#### 授業概要情報

題目 / Theme	コンピュータリテラシ
内容 / Contents	インターネットをはじめとした今日の情報通信化社会で必要とされる基礎的な技能と概念を習得し、問題分析能力や問題解決能力を養うことを目的としています。WWW、電子メール、ファイルシステム、情報倫理、安全対策、などを学びます。また、ワープロ・表計算・プレゼンテーションの利用の基礎を身につけ、後期の「情報処理技法 (リテラシ) II」での学習につなげます。
到達目標 / Goals of the course	情報分野の基本的なスキルであるコンピュータの操作、電子メール、Webによる情報検索や文献検索、情報倫理、セキュリティ、ファイルシステム、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの基礎、またそれらを安全に利用していくための知識を身につけることを目標とします。
教室外の学習方法 / Work outside of class	講義時間以外にも、タッチタイピングの練習、電子メール (東女Gmail)、Web、Officeアプリなどを積極的に利用してください。そのほか、担当教員が課題を提示します。
教材 / Teaching materials	テキスト / Textbooks 奥村晴彦・森本尚之『改訂第4版 基礎からわかる情報リテラシー』 (技術評論社) 参考書等 / Reference books 参考資料を講義の中で紹介します。
成績評価方法 / Grading Method	・その他 (Other) 平常点および学期中の課題：タイピング：1年次必須情報検索ガイダンスWebテストの受講状況：InfoSS情報倫理 (Webclass) 修了テストの成績：総合発展課題を、30:10:5:25:30の比率で評価します。平常点には出席状況の他に講義中に行う演習等も含まれます。
学生へのフィードバック / Feedback to student	・その他 (Other) 担当教員によって異なるが、学生の提出物や発表に対してコメントを返す。
成績評価基準 / Grading Policy	以下の点を評価する。 情報分野の基本的なスキルであるコンピュータの操作が身に付いている。 情報分野の基礎的な知識であるインターネットの基本について理解している。 情報社会を生きるために必要な基本的な著作権 (著作物の利用や引用) について理解している。 情報社会を生きるために必要な基本的な情報倫理が身に付いている。 情報分野の基礎的なセキュリティの知識が身に付いている。 情報の表現 (ワープロ、表計算、プレゼンテーション) の基礎的なスキルが身に付いている。

備考  
/Notes

・後期に必修科目として情報処理技法（リテラシ）IIを開講しています。これは、情報処理技法（リテラシ）Iの後期科目として設置していて、大学4年間での学習に必要な、レポートや論文の作成・発表についての技法を集中的に学ぶ科目です。  
 ・後期には、必修科目の情報処理技法（リテラシ）II以外に、情報処理技法（プログラミング）I、情報処理技法（Javaプログラミング）I、情報処理技法（マルチメディアと表現）I、情報処理技法（UNIXリテラシ）、情報処理技法（統計解析）、情報処理技法（ネットワークとセキュリティ）などを受講することができます。

スケジュール/Schedule

回数	授業内容	教室外学習	
		内容	時間の目安
1	導入1 1A) キーボードとマウスについての説明 1B) 本人認証（ログイン、ログアウト、パスワード）についての説明 1C) ログインパスワード、履修登録パスワード、メールアドレスについての説明 1D) パスワード変更についての説明 1E) 東女のシステム利用（シラバス閲覧・科目登録）、著作権（概要と引用）、タイピング練習についての説明 1F) Microsoft365の利用方法の説明	第1回講義時までに購買センターでテキストを購入し、第1章、第11章、第12章を読んでくること。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
2	導入2 2A) パスワード変更 2B) 電子メール 電子メールの概要、ヘッダ（宛先、Cc、Bcc、件名など）、東女Gmail、東女Gmailの操作（文字列の複写・移動・削除、受信、送信、署名、添付、携帯電話からの利用）、電子メール利用のマナー	テキストの第3章を読んでくること。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
3	ファイルシステム1 ファイルとフォルダ、文字入力と保存	テキストの第2章、第4章を読んでくること。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
4	図書館1年次必須情報検索ガイダンス（WebClass）	図書館1年次必須情報検索ガイダンス（WebClass）を受講し、確認テストを受験すること。	120
5	インターネットとサービスの仕組み	テキストの第10章、第11章を読んでくること。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
6	WWW	テキストの第3章、第8章を読んでくること。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
7	情報の検索と利用	テキストの第9章を読んでくること。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
8	著作権、引用、情報と法律	テキスト第9章、第12章を読みなおしてくること。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
9	Infoss情報倫理（WebClass） 序章 インターネットを始める前に、第1章 ユーザ認証とアカウント、第2章 インターネットの基本的な注意点、第3章 インターネット上のコミュニケーション、第4章 インターネットでの取引、第5章 セキュリティ対策、第6章 著作権と個人情報保護法、第7章 ネットワーク社会を取り巻く法律	Infoss情報倫理（WebClass）の指定された箇所を行うこと。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
10	ファイルシステム2 ファイルシステムの復習、フォルダとファイル操作	テキスト第4章を読みなおしてくること。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
11	Office アプリ1  注) 11-14回目の内容と時間配分は各クラスにより異なります。 すべてのクラスで、Word/Excel/PowerPointの基本概念、起動と終了、ファイルの新規作成と保存、ファイルの開き方と上書き保存の仕方は扱います。また、Excelを扱う際にはデータサイエンスの初歩についても学びます。	テキストの第5章、第6章、第7章を読んでくること（担当教員が指示する）。担当教員の提示した課題を行うこと。	120

12	Office アプリ2	テキストの第5章、第6章、第7章を読んでもらうこと（担当教員が指示する）。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
13	Office アプリ3	テキストの第5章、第6章、第7章を読んでもらうこと（担当教員が指示する）。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
14	Office アプリ4	テキストの第5章、第6章、第7章を読んでもらうこと（担当教員が指示する）。担当教員の提示した課題を行うこと。	120
15	総合発展課題：クラスによりテーマが異なります。	担当教員の提示した課題を行うこと。 総合発展課題を行うこと。	120
備考	・スケジュールの時間配分については、授業の進み具合により、クラスごとに調整されることがあります。		

図書館蔵書検索OPACは[こちら](#)

無断転載、無断引用することを禁止いたします。ご意見は東京女子大学学務課までお願いします。(c) 2013東京女子大学. All rights reserved.

## 授業情報 / Course information

### 授業概要情報 / Course information

#### 授業基本情報

時間割番号 / Course Code	2JJ10202		
科目名 / Course Title	情報処理技法 (リテラシ) II / Information Processing Skills (Literacy) II		
科目区分	情報処理科目		
担当教員名 / Teacher	春名 太一		
開講期 / Course Duration	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	開講曜限 / Day / Period	月 / Mon 5
単位 / Credits	2		
ディプロマポリシーとの関連 / Related to diploma policy	<a href="https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf">https://www.twcu.ac.jp/main/assets_c/ja/r08ji800000065z4-att/2018curriculum_map.pdf</a> ※上記にはコースナンバリングを含む。		
使用言語 / Language of instruction	日本語 (Japanese)		

#### 授業概要情報

題目 / Theme	アカデミック環境におけるコンピュータの活用		
内容 / Contents	情報処理技法 (リテラシ) Iをもう1段階強化して実践的にアカデミックライティング技術とアカデミックなプレゼンテーション技術を習得する。そのために、Officeソフトを効果的に利用するためのスキルを身につける。また、アカデミックライティングやアカデミックなプレゼンテーション資料の作成を通して、論理的思考力を養う。すなわち文献検索の方法やインターネットの利用方法を学び、情報を効率良く検索し批判的に取捨選択し、それらを用いて生産的に自らのレポートや論文、発表資料として構成しなおす作業を、情報技術を用いて効率良く行える力を身に付ける。		
到達目標 / Goals of the course	インターネットや図書館を利用して、適切な情報検索ができる。 MicrosoftのExcelを利用して、適切なグラフの作成ができる。 MicrosoftのWordを利用して、適切なレポートや論文を作成することができる。 MicrosoftのPowerPointを利用して、適切なプレゼンテーションスライドを作成することができる。		
教室外の学習方法 / Work outside of class	教室外学習 (課題) の内容は「情報処理技法 (リテラシ) I」の教科書を読む、また担当教員がクラスごとに課題を指示する (スケジュール欄を参照のこと)。 予習・復習の他に、課題は各自が計画的に行うこと。		
教材 / Teaching materials	テキスト / Textbooks	特にないが、2021年度の「情報処理技法 (リテラシ) I」の教科書は、参考書として授業の中で引き続き用いるため、必ず持参すること。	
	参考書等 / Reference books	情報処理技法 (リテラシー) I 教科書 (奥村晴彦・森本尚之『改訂第4版 基礎からわかる情報リテラシー』技術評論社) そのほか、内容に応じて適宜紹介する。	
成績評価方法 / Grading Method	成績評価方法	100%	・ 平常点(participation in class) ・ その他(Other) クラスごとに課題やレポートが課され、それらが平常点に含まれる。
学生へのフィードバック / Feedback to student	・ その他(Other) 担当教員によって異なるが、学生の提出物や発表に対してコメントを返す。		
成績評価基準 / Grading Policy	以下の4点が成績評価基準である。 1) インターネットや図書館を利用して、適切な情報検索ができるか。 2) MicrosoftのExcelを利用して、適切なグラフの作成ができるか。 3) MicrosoftのWordを利用して、適切なレポートや論文を作成することができるか。 4) MicrosoftのPowerPointを利用して、適切なプレゼンテーションスライドを作成するこ		

とができるか。

## スケジュール/Schedule

回数	授業内容	教室外学習	
		内容	時間の目安
1	オリエンテーション、シラバスの説明 クラスごとに進め方の説明	シラバスをよく読む。	120
2	エクセル（表計算） 注）エクセルを扱う第2～4回は、データを用いた演習を含む（データファイルの読み方、データのグラフ化、直線あてはめ、など）	担当教員が指示した課題を行う。 情報処理技法（リテラシ）1の教科書の エクセルの箇所を読む。	120
3	エクセル（グラフ）	担当教員が指示した課題を行う。 情報処理技法（リテラシ）1の教科書の エクセルの箇所を読む。	120
4	エクセルを使った実習	担当教員が指示した課題を行う。 Excel（表計算とグラフ）を復習する。	120
5	情報検索（専門用語の意味の検索、国内論文と海外論文の 検索、Cinii、OPAC、図書館利用）	担当教員が指示した課題を行う。 情報処理技法（リテラシ）1の教科書の 情報検索の箇所を読む。	120
6	情報検索（ネット上の情報の探し方）	担当教員が指示した課題を行う。 情報処理技法（リテラシ）1の教科書の 情報検索の箇所を読む。	120
7	ワード（レポートや論文の基本的な構成）	担当教員が指示した課題を行う。 情報処理技法（リテラシ）1の教科書の Wordの箇所を読む。	120
8	ワード（レポートや論文の作成で役立つテクニック）	担当教員が指示した課題を行う。 情報処理技法（リテラシ）1の教科書の Wordの箇所を読む。	120
9	ワードによるレポートの作成実習	担当教員が指示した課題を行う。 Wordの授業内容を復習する。	120
10	パワーポイント（プレゼンテーションの基本、スライドの 適切な構成とスライドの作り方）	担当教員が指示した課題を行う。 情報処理技法（リテラシ）1の教科書の PowerPointの箇所を読む。	120
11	パワーポイント（スライド作成で役立つテクニック、アニメーションの適切な利用）	担当教員が指示した課題を行う。 情報処理技法（リテラシ）1の教科書の PowerPointの箇所を読む。	120
12	パワーポイントによる発表スライドの作成実習	担当教員が指示した課題を行う。 PowerPointの授業内容を復習する。	120
13	最終課題1	担当教員が指示した課題を行う。 これまでの授業の内容を復習する。	120
14	最終課題2	担当教員が指示した課題を行う。 これまでの授業の内容を復習する。	120
15	最終課題3	担当教員が指示した課題を行う。 これまでの授業の内容を復習する。	120
備考	・授業内容やスケジュールは、各クラスの進み具合によって変動することがある。		

### 特徴ある授業科目

特徴ある授業科目      アクティブ・ラーニング科目（A科目）

図書館蔵書検索OPACは[こちら](#)